

はじめに

本報告書は、平成12（2000）年度の共同研究「メディアを活用した学習方法の最適化に関する研究開発」を構成する研究課題のうち、「双方向メディアによる学習過程」にかかわる部分と、公募共同研究課題「オンライン・コースにおける授業の評価・改善」にかかわる実践的な取り組みを報告するものである。

今日、情報通信技術の進歩と高等教育機関における教育機能の多角化によって、バーチャル・ユニバーシティやフレキシブル・ラーニングと呼ばれる学習を支援する機能や環境が提供され始めている。今後、これらの新しい形態の教育環境に対応した評価や支援機能に関する研究が望まれるものと思われる。

そこで、本報告では、その基礎資料とすべく、既に、自らの教育活動に情報通信技術を活用し、オンライン・コースを展開・実践している教育・研究者を中心に、その活動をまとめるとともに、他の高等教育機関や学会・研究会等における取り組みを調査し、オンライン・コースを実施する上での課題や問題点を洗い出すことを目的とした。

本報告書作成に御協力いただいた方々に感謝すると共に、皆さんの教育・研究活動の一助となることを願っている。

平成13年2月

「オンライン・コースにおける授業の
評価・改善に関する実践的研究」
主担当者：波多野 和彦